

## 行政評価とは

行政評価とは、行政活動の目的を明確にしながら、活動の効果を数値化し、評価するシステムであり、「Plan（計画） Do（実施） Check（評価） Action（改善）」のマネジメントサイクルを行政活動に組み入れることによって、行政の意思決定から評価・改善に至るプロセスを明確化し、また、評価結果を市民に公表することにより行政の透明性の確保、市民と行政とのパートナーシップづくりなどに役立てるもので、行政運営を「経営」という視点から見直し、質的な改善を図るためのしくみとするものです。

本市は、市民の価値観の多様化、また厳しい財政状況等を背景に、本市が目指す将来像にむけ市民ニーズに適切に対応する行政サービスを実施するため、真に市民にとって必要な事業、満足を得られる事業を展開していかなくてはなりません。そのためには、限られた経営資源（人とお金と物）をより効率的に活用する必要があります。

そこで、顧客重視、効率性重視、成果重視など民間経営の良いところを取り入れ、限られた資源を最大最適に活用する「行政経営」の考え方に立って、着実な行政活動を推進するため、行政評価システム（事務事業評価）を速やかに定着させるよう、行政改革推進実施計画の重点項目として位置づけ取り組みを進めます。

